おいしく　たのしく　すこやかに

森永製菓株式会社　NEWS RELEASE　2026 年 11 月 19 日

歯みがき指導から一歩先へ
子どもの「食べる・話す・呼吸する力」を育む
全国規模の口腔機能支援プログラムを 76 施設で開始

森永製菓株式会社（東京都港区、代表取締役社長 COO 森 信也）は、株式会社コドモン（東京都品川区、代表取締役 CEO 小池義則）と共同で、子どもの健やかな成長を支える「口腔機能」に着目した新たな保育施設向け支援プログラムを開始します。本プログラムは、保育者向け専門研修とオリジナル教材を組み合わせ、保育現場での実践までを一体的に支援する取り組みです。昨年度 7 施設で実施した口腔衛生に関するプログラムを、今年度は内容刷新の上 76 施設へと大幅に拡大し、近年課題として注目される「噛む・飲み込む・話す・呼吸する」といった口腔機能の発達支援に取り組みます。

当社では、人々が食べたいものを好きなだけ、いつまでも自分の歯でしっかり噛んで食べられる世界の実現を目指し、2024 年 7 月より「口腔ケア」プロジェクトに取り組んでいます。これまでに、子どもから大人まで、おいしく、たのしく続けられるおくちケアのための情報発信サイトとして、「森永おくち研究所」（https://okuchi-lab.jp）を公開しました。さらに、保育・教育施設の業務支援を行う ICT サービス「CoDMON（コドモン）」や、保育現場で役立つ知識やスキルを身に付けられるオンライン研修プラットフォーム「コドモンカレッジ」の提供などを通じて、保育現場の業務効率化と保育の質向上を支援しているコドモンと、2025 年 6 月に「子どもの健康教育・保健指導の支援に関する包括連携協定」を締結するなどプロジェクトを推進しています。

昨年度の取組では、コドモンが運営する保育・教育施設向けオンライン研修プラットフォーム「コドモンカレッジ」による保育者研修と、森永製菓が提供するオリジナル口腔ケア教材を組み合わせ、保育現場での口腔ケア指導を支援するため、全国 7 施設で小規模で実施し、歯みがきの重要性やみがき方など口腔衛生に関して指導を行いました。



▲オリジナル口腔ケア教材を使用した昨年度の実践会の様子



▲昨年度のオリジナル口腔ケア教材

昨年度の取り組みに対し好評の声をいただいたことから、このような啓発活動の意義を見出し、今年度は 7 施設から 76 施設に規模を拡大して実施することを決定いたしました。また、昨年度は「口腔衛生」にフォーカスを当てて実施いたしましたが、今年度は多くの人がその重要性に気づきづらい「口腔機能」についての内容を刷新したオリジナル教材を作成いたしました。

■今年度のオリジナル口腔ケア教材について

昨年度の教材については、「パーツが多く扱いづらい」「広い教室では見えにくい」「途中で子どもが飽きてしまうことがある」などのご意見をいただきました。これらの声を受け、今年度の教材では、パーツ数を削減して保育者の負担軽減を図るとともに、教材を大きく動かせる仕掛けを取り入れることで、後方の子どもからも見やすい設計に改善しました。また、子どもたちが一緒に口を動かしたり声を出したりしながら参加できる内容とし、楽しみながら学べる工夫を盛り込んでいます。さらに、教材の実演デモ動画も作成し、保育者がより円滑に活用できる環境を整えました。

教材のテーマについても、昨年度の歯みがきやむし歯予防を中心とした「口腔衛生」から発展し、今年度は舌のはたらきを中心とした「口腔機能」を取り上げました。口腔機能とは、「噛む」「飲み込む」「話す」「呼吸する」など、お口が担うさまざまな働きのことを指します。口腔衛生に比べてイメージしづらいテーマではありますが、食事だけでなく会話や呼吸にも深く関わり、子どもの健やかな成長を支える重要な機能です。また、保育現場においても、誤嚥の予防や食べる力を育む観点から、その理解を深める意義は大きいと考えています。



▲今年度のオリジナル口腔ケア教材

■子どもの口腔機能について

「噛む」「飲み込む」「話す」「呼吸」といったお口の機能は、子どもの成長とともに発達していきます。中でも重要な役割を担うのが「舌」です。舌は食べ物を噛みやすい位置へ運ぶだけでなく、飲み込みや発音、さらには口を閉じる機能にも関わっています。

近年、口呼吸や軟らかい食品を中心とした食生活の変化などから、お口ポカンや食べるのが遅い等、お口の機能の発達に課題を抱える子どもが増加しています。子どもの頃に適切な口腔機能を身につけることは、「おいしく食べる」「楽しく話す」といった毎日の生活を支えるだけでなく、生涯にわたる健康の土台づくりにもつながります。

＜コドモン　経営推進部企画グループ　総合企画・戦略推進　兼　普及推進部　コドモンカレッジチーム　諏訪　茜コメント＞

保育現場では、子どもたちの健やかな成長を支えるため、さまざまな分野の知識が求められています。コドモンカレッジでは、保育者の皆さまが日々の保育に役立つ知識を学び、実践に活かせるよう、学びの機会を提供しています。

本取り組みでは、森永製菓様の専門的な知見と、コドモンが持つ「保育者の学びを支える仕組み」および「園を通じて子どもや保護者へ情報を届ける仕組み」を掛け合わせることで、子どもの健康を支援する新たなプログラムを創り上げることができました。

今年度は、口腔衛生から口腔機能へとテーマを広げながら、より多くの施設とお取り組みができることを大変嬉しく思います。

＜森永製菓　新規事業開発部　おくちすこやかプロジェクト　樵田　侑奈　コメント＞

当社では、いつまでも自分の歯でしっかり噛んで食べられる世界の実現を目指し、口腔ケアプロジェクトに取り組んでいます。

子どもたちの健やかなおくちの発達のため、今回の教材作成を担当させていただきました。歯みがきやむし歯予防などの口腔衛生と比べ、口腔機能はどうしても身近に感じづらく、理解しづらい内容ですが、食べる・飲み込む・話すなどお子さまの日常生活を送る上で非常に重要です。コドモンカレッジの研修を受講いただき、当教材を実演いただくという一連の流れで、是非保育者の皆様も、お子さまも、保護者の方も口腔機能について楽しく学んでいただけますと幸いです。

■株式会社コドモンについて

コドモンは、「子どもを取り巻く環境をテクノロジーの力でよりよいものに」というミッションを掲げ、業界シェア No.1(※)の保育・教育施設向け ICT システム「CoDMON(コドモン)」 を提供しています。

園児情報と連動した成長記録や指導案のスマートな記録、登降園管理、保護者とのコミュニケーション支援機能などを通して、先生方の業務負担を省力化します。これにより、子ども施設で働く職員と保護者の方々が、子どもたちと向き合うゆとりをもち、より質の高い保育ができる環境づくりを支援しています。

また、ICT による支援だけでなく、保育施設向け EC サービス「コドモンストア」、全ての子ども施設職員が利用可能な優待プログラム「せんせいプライム」、保育施設向けオンライン研修プラットフォーム「コドモンカレッジ」も展開しています。これらの多角的な取り組みを通じて、「子どもの育ちや学びを社会全体で支えられる世の中へ」というビジョンの実現を目指します。

※「SaaS 型業務支援システムの導入園調査 2024」 株式会社東京商工リサーチ（2025 年 1 月）